



東北地方を中心にパチンコ、パチスロ店などを幅広く展開するセントラル伸光グループ(清水文徳社長、本社宮城県仙台市)は、社員数3

セントラル伸光グループ

ームがお年寄りの身心によい影響を与え、長く続けていってほしい

最近ではちよつと下火。ゲームがお年寄りの身心によい影響を与え、長く続けていってほしい

たたとえば、毎年敬老の日に開催されるパチンコ大会。今年もグループでは、老人福祉施設などからお年寄りを呼んで、盛大に開かれました。かつては、業界でも各地で開かれていましたが、

と根を張って生きてきただけに、その社会貢献活動も、東北らしい、そこはかとない温かな人情を感じさせます。

今年もパチンコ大会を開催した大船渡セントラルの工藤店長はその感想をこう述べています。

「私はこの時間が大好きです。遊技に一喜一憂し、笑顔になってくれる人生の先輩たち。そこに付き添う施設のスタッフの方も笑顔、企画実行者の私たちも笑顔。ホールいっぱい笑顔が広がります。毎年ありがとう！と感謝のお言葉をもらいますが、こっちが感謝したいくらい素敵なお時間です」

老人福祉に力を入れるセントラルグループは、アルミ缶などの資源を回収し、その利益で福祉施設に車いすを送るなどの活動も行っています。また、ペットボトルのキャップを回収し、その利益を途上国の子供たち



笑顔が広がった敬老の日のパチンコ大会

ような活動も行っています。最近力を入れているのが、地域の環境保護を目的にした植林活動です。美しい緑と豊かな自然を未来の子供

たに残すために、と大きなところざしを掲げ、できることから、着実に進めていきたいとしています。

被災子らに「スマイル祭り」

ところで、東日本大震災のとき、幸い従業員は全員無事でしたが、流出した店舗、浸水した店舗があり被害は甚大でした。そうした痛みや悔しさを知るセントラルグループだからこそ、全社挙げての救援ボランティア活動や募金活動に取り組みました。特に気仙沼では、お店の復旧



休店中の駐車場を解放した「気仙沼スマイル祭り」。ヒーローショーに夢中の子供たち

「スマイル祭り」です。遊具で遊び、ヒーローショーを見て無邪気に笑う子供たちを見て、心の底からやってよかったと感じました。子供と同伴者合わせて1000人以上の来場となり、我々実行委員会は休憩を取る暇も無かつたくらいです。その後コンビニやスーパーで「店長ありがとう！元氣出たよ！」と声をかけられる場面もあり、少しでも地域への貢献が出来た事を嬉しく思っています」

セントラル伸光の企業理念には、「私たちは、一人ひとりが主役になり、関わる全ての人々がセントラルで過ごす時間を価値あるものにします」が掲げられています。地域とともに歩む、いかにもセントラルグループらしい標語ではないでしょうか。

